

Ⅲ-1 秋田大学大学院先進ヘルスケア工学院 学位授与方針・学位論文評価基準

以下の方針に従って学生の修了認定および学位授与を行います。

医工連携に関する基礎的な知識を修得し、実験で取得したデータを利活用して新たな価値を見出し、地域の超高齢社会で必要とされる先進的な医療・ヘルスケアの機器やソフトウェアを開発することができる、高度な知識と能力を身につけたと認定できる場合に修士（工学）の学位を授与します。

なお、修士論文は、以下に示す評価基準に基づき審査を行います。

1. 学位論文のテーマは、本院が授与する学位に対して適切に設定されているか。
2. 先行研究や関連研究に関する文献などが広く調べられ、理解されているとともに、本分野における学位論文の位置づけが適切に表現されているか。
3. 本分野における十分な知識を修得し、研究の意図や問題を的確に把握し、解決方法を提示する能力が反映されているか。
4. 論文の記述（本文、図、表、参考文献など）が適切であり、論理構成に無理や無駄がなく、結論が導き出されているか。
5. 引用の方法が適切であるか。また、研究倫理上の問題に細心の注意が払われているか。
6. 本分野の実証的見地から、新たな観点、知見、独自の価値を有するものとなっているか。上記評価項目すべてが満たされていると認められた者を合格とする。